



2023年度中四国地区協会 助成事業
一緒にさわって、考えよう！大学図書館生成AI活用方法

山口大学の場合

YAMAGUCHI
UNIVERSITY

発表の前に・・・



山口大学では大学の事情により、この生成AIを業務の立場から実際に触ってみることはできませんでした。

ただ事業という位置づけで
図書館内で話し合う機会を得た！



第1回話し合い



■ 図書館でどんなサービスが提供できる？

- ・図書館特有のレファレンスサービスにはあまりなじまない？
- ・一般的事務（文書作成、翻訳には力を発揮）？
- ・展示に利用できそう。情報サービスの提供としてこの機能が使える？

なにか手助けしてくれるもの？

業務の中で壁になるものの対応、効率化に役立ちそう

第1回話し合い



■ 活用することで図書館業務の改善・効率化につながる？

- ・ワークライフバランスの確立できるのでは
- ・例えば時間がかかる書架の並びの異常点検を実施
- ・学生協働のシフトが組みやすい→時間短縮
- ・リモートワークやフレックスタイムの導入
- ・図書館システムへリモートアクセスできる環境があれば、活用して効率化につなげられる
- ・24時間利用登録することによって図書館を使えるようにすると、職員のフレックスタイムが導入できるのでは

業務改善、効率化になる可能性にワクワク

対: ChatGPT



■ 大学としてのガイドライン未

→ 要機密情報の漏洩した場合の追跡
生成物が他者の知的財産を侵害して
いた場合の調査の対応
利用サービスの範囲について具体的な
内容を考えなくてはならず..

参加を見送る.....

第2回話し合い



■ 夢描く大学図書館の姿・・・ChatGPTを使って

『居心地の良い場所としての図書館』

- 簡易なレファレンスへの対応・・・チャットポットでQ&Aを
24時間図書館を利用できる、サービスの向上に
困ったときのサポート役を生成AIですれば可能かも
- 館内案内MAPをわかりやすく・・・技術の習得に利用
- チャットから情報収集してサービスに活かす
＝集まりやすい場所作り
- 人に聞きにくい、敷居が高い・・・チャット機能で解消？

学生が気持ちよく利用できる図書館！

会の今後・・・



山口大学図書館として
「居心地の良い居場所の図書館」
になることを実現していきたい。



ご清聴ありがとうございました。

